

第4次実行計画 評価表

※効果額(千円)は、平成23年度と比較した額。

		担当課		子育て支援課		
取組事項	学童保育(児童クラブ)実施施設の確保					
取組内容	学童保育(児童クラブ)実施施設が不足している地域には、早期に活動場所を確保し、市内におけるサービスの平準化を図ります。					
実施スケジュール	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	結果
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	実施中
効果額(千円)						合計
目標(値)	全学童保育(児童クラブ)で待機児童の解消を図ります。					
進捗状況 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模化したクラブについては、学校と協議のうえ余裕教室や施設を借用し、保育環境を改善しました(八ツ面、くすの木、中畑、あすなろ、福地南部等)。 ・クラブ室の移転等に伴い、学校敷地内に専用室を設置し、保育スペースの拡大や設備の充実を図りました(H24年度…西小、H25年度…おぎわら、H26年度…よこすか、H27年度…花ノ木・鶴城、H28年度…米津・平坂)。 ・平成29年3月31日現在、待機児童なし。 					
効果額の 積算・説明						
行政評価委員会 からの質問	学童保育を希望する家庭の要望がかなうように、今後も尽力されたい。定員拡大要望のある地区、利用する学童数減少傾向地区は、それぞれどこですか。					
上記質問に 対する回答	<p>現在の待機児童は、ありません。</p> <p>利用者増の傾向の地域は、花ノ木、八ツ面、鶴城、平坂、矢田、福地南部、一色西部です (H26-H29で20人以上の増)。</p> <p>利用者減の傾向の地域は、室場です (H26-H29で△3人)。</p>					
評価	自己評価			行政評価委員会評価		
	A 大いに成果があった			A 大いに成果があったと評価する		
具体的な 評価理由	クラブ室の新增設、余裕教室等の学校からの借用により、待機児童は発生しませんでした。			児童クラブの施設を確保することに努力し、学童保育の待機児童がないことを評価します。引き続き関係する課との連携に努められたい。		

第4次実行計画 評価表

※効果額(千円)は、平成23年度と比較した額。

		担当課		家庭児童支援課		
取組事項	家庭児童相談拠点の集約化					
取組内容	総合福祉センター内で実施している児童相談及び母子家庭相談については、市役所の家庭児童支援課窓口の事業及び相談と関連する内容が多く、市役所内に集約し、事務の効率化と市民の利便性の向上を図る。					
実施スケジュール	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	結果
	完了					完了
効果額(千円)						合計
目標(値)	家庭児童相談の拠点を集約し、事務の効率化と市民の利便性の向上を図る。					
進捗状況 効果	市民に家庭児童相談が1か所に集約されていることが浸透しつつありますが、今後も広報等で周知を行っていきます。					
効果額の 積算・説明	相談場所を集約したため、同時に2つ以上の相談に対応できるようになっている。					
行政評価委員会 からの質問	各年度の相談件数は何件ですか。					
上記質問に 対する回答	新規の相談件数 24年度 119件 25年度 111件 26年度 135件 27年度 155件 28年度 126件					
評価	自己評価			行政評価委員会評価		
	A 大いに成果があった			A 大いに成果があったと評価する		
具体的な 評価理由	児童相談の中には虐待が疑われる内容であることもあり、また、DV相談は母子家庭相談に繋がることもあるため、相談者にとって相談場所が集約されたことは利便性が高まるとともに迅速・適切な対応が可能になった。			総合福祉センターで行われていた児童相談及び母子家庭相談を市役所で行い家庭児童相談場所が集約され、相談件数は各年度100件を超えている。市民が相談してよかったと思える対応を市役所内のできるならば、今後も成果が期待できる。		

第4次実行計画 評価表

※効果額(千円)は、平成23年度と比較した額。		担当課		市民課		
取組事項	土曜開庁の本格実施					
取組内容	平成21年4月から試行的に行っている土曜開庁を、平成24年度から本格実施し、引き続き、市民の利便性を図ります。					
実施スケジュール	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	結果
	完了					完了
効果額(千円)						合計
目標(値)	土曜開庁を本格実施し、引き続き、市民の利便性を図ります。					
進捗状況効果	平成24年度に本格実施しました。土曜開庁を利用される方は年々増えてきており、土曜開庁が市民に浸透してきていると思われます。 平成26年度より、市民の要望が多く土曜開庁で発行可能な証明について新たに追加しました。(合併による住所・本籍の変更証明など)					
効果額の積算・説明	1回開庁当たりの平均来庁者数 23年度…31.4人、24年度…41.6人、25年度…49.9人、 26年度…44.1人、27年度…53.0人、28年度…55.2人					
行政評価委員会からの質問	土曜開庁による利便性向上だけでなく、付加できる市民サービスなどは考えたことはありますか？土曜開庁の周知はどの程度進んでいきますか？					
上記質問に対する回答	平成27年度より開始されましたマイナンバー制度に対応するため、土曜開庁に併せてマイナンバーカード交付やマイナンバーに関する業務も同様土曜開庁にて、増員して対応しています。土曜開庁の周知については、西尾市HPや市民課封筒に掲載し進めています。					
評価	土曜開庁の本格実施			行政評価委員会評価		
	A 大いに成果があった			B やや成果があったと評価する		
具体的な評価理由	土曜開庁については、開始当初と比べても大幅に増加しており、成果が上がったと考えます。 平成29年2月6日からマイナンバーによる住民票及び印鑑登録証明書のコンビニ交付が開始されたことに伴い、土曜開庁で行っている証明書発行業務の一部が、コンビニ取得できるようになり、今後についてはコンビニ交付取得可能証明の種類が増加するなど、変更があった場合には存続について、慎重に検討をしていきたいと考えております。			土曜開庁の実施に大いに成果があったと満足することなく、平日の窓口業務の延長ほか、市民の利便性向上のために実施可能な施策を常に検討しトライしてください。そのためには市民課や税務課など窓口を訊ねる市民の数や待ち時間、用向きなどの基本的なデータ取得や市民の要望に積極的に耳を傾け、試行的な実施から始めてみてはいかがでしょうか。		

第4次実行計画 評価表

※効果額(千円)は、平成23年度と比較した額。

		担当課		スポーツ課		
取組事項	体育施設予約システムの整備					
取組内容	体育施設予約システムの早期整備を図ります。 整備にあたっては、施設ごとに順次行い、最終的には全施設のシステム整備を行い、市民の利便性の向上を図ります。					
実施スケジュール	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	結果
	順次整備	⇒	完了			完了
効果額(千円)						合計
目標(値)	予約システムの整備により、市民の利便性の向上を図ります。					
進捗状況効果	平成26年4月1日から市内の全体育施設で「あいち共同型体育施設予約システム」を利用し、自宅からでもインターネットで施設の予約状況の閲覧や施設予約ができるようになりました。予約システムの導入により、利便性が向上しました。					
効果額の積算・説明						
行政評価委員会からの質問	施設予約に関して、窓口寄せられる利用者の声で、今後検討すべきことがありますか。					
上記質問に対する回答	市内の全体育施設は「あいち共同型体育施設予約システム」を利用し、自宅からでもインターネットで施設の予約状況の閲覧や施設予約ができるようになったが、文化会館、勤労会館や公民館などの市内の公共施設も「あいち共同型体育施設予約システム」を利用して予約ができるようになるとうい。					
評価	自己評価			行政評価委員会評価		
	A 大いに成果があった			A 大いに成果があったと評価する		
具体的な評価理由	市民の利便性の向上が図れた。			平成26年4月より、あいち共同型体育施設予約システムが整備され、利用できるようになり、市民サービスの提供・向上を図った取組として評価します。		

第4次実行計画 評価表

市民サービスの向上

カ 27-5

※効果額(千円)は、平成23年度と比較した額。

		担当課		図書館		
取組事項	図書館のネットワーク化					
取組内容	本館と分館のシステムを統合し、業務の効率化と利用者サービスの向上を図ります。					
実施スケジュール	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	結果
	統合準備	実施(統合)	⇒	⇒	⇒	実施中
効果額(千円)		13,892	13,668	13,419	13,689	合計 54,668
目標(値)	ネットワーク化により、業務の効率化や経費の削減、利用者サービスの向上を図ります。					
進捗状況効果	本館のシステム更新にあわせ、H25年4月、本館と分館のシステムを統合。ネットワーク化により、貸出返却や蔵書検索などの利用者サービスが向上しました。 システム統合、機器購入に係る経費は買上げのため全体経費削減。					
効果額の積算・説明	システム運用に係る経常経費の削減額を計上					
行政評価委員会からの質問	システム更新の機会に本館、分館のシステムを統合し、利用者サービスが向上したことを評価します。今後利用者サービス向上のため実施したいことは何ですか。					
上記質問に対する回答	図書館は、本館、分館3館、配本所6館、予約本受取館3館の計13館で図書館業務を行っています。しかし、予約本受取館には図書館システムが設置されていません。資料の貸出、返却をスムーズに行うための対策をし、利用者サービスの向上を図ってまいります。					
評価	自己評価			行政評価委員会評価		
	B やや成果があった			B やや成果があったと評価する		
具体的な評価理由	本館と分館とで異なるシステムを統合しましたが、一部の情報について整理できていないものがあります。			平成25年度には、図書館の本館、分館のシステムを統合し貸出返却や蔵書検索などの利用者にとってのサービスが向上したことを評価します。引き続き図書館業務を行う13館の連絡、調整に努められたい。		

第4次実行計画 評価表

※効果額(千円)は、平成23年度と比較した額。		担当課		危機管理課		
取組事項	同報無線の統一と難聴地域の解消					
取組内容	<p>現在、同報無線は旧西尾市と旧幡豆郡3町でそれぞれ運用していますので、緊急時の放送等に時間差が生じる可能性があります。</p> <p>この問題を解決するため、市役所本庁舎に旧幡豆郡3町地域の同報無線を操作することのできる端末を整備し、本庁舎から市全域に緊急時の放送ができるようにします。</p> <p>また、コミュニティFMの導入を検討し、同報無線の難聴地域の解消を目指します。</p>					
実施スケジュール	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	結果
	完了					完了
効果額(千円)						合計
目標(値)	市全域への緊急時放送の効果的な運用を図ります。					
進捗状況 効果	<p>平成24年度の防災行政無線(同報系)システム支所操作卓統合工事によって、市役所本庁舎の操作卓から3支所の既設操作卓を通じて、旧幡豆郡3町への放送が可能となりました。</p> <p>これにより、市内全域への一斉放送や、支所単位での放送が可能となったため、時間差が生じることなく、緊急情報を伝達できるようになりました。</p> <p>なお、コミュニティFMの導入は、法律上の放送エリアでない等の課題があるため、今後検討したうえで判断していきます。</p>					
効果額の積算・説明						
行政評価委員会からの質問	難聴地域の定義はありますか。また、もし難聴地域が残る、あるとすれば、その補助手だては何か。また、周知されていますか。					
上記質問に対する回答	<p>難聴地域は、同報無線の放送内容が聞こえない地域のことを差します。放送を確認する方法としましては、屋外拡声子局(屋外)と戸別受信機または防災ラジオ(屋内)の2点がございしますが、各地区の現状については下記の通りです。</p> <p>○西尾地区 屋外拡声子局：概ね居住エリアをカバー 戸別受信機または防災ラジオ：未整備</p> <p>○一色・吉良・幡豆地区 屋外拡声子局：難聴地域あり 戸別受信機または防災ラジオ：全戸配布</p> <p>以上のように、西尾地区では屋内、他地区では屋外の情報伝達において難聴地域が存在しております。補助手立てとしましては、同報無線の内容を通話料無料で確認することができる、テレホンサービス(0120-96-8111)があり、広報誌や市ホームページを通じて周知しております。</p> <p>また今後は、屋内の情報伝達手段として、携帯電話から放送内容を確認するための防災アプリ及びメール配信の導入、屋外の情報伝達手段として、一色・吉良・幡豆地区の屋外拡声子局の難聴地域を解消するための更新工事(屋外拡声子局の増設及び音達エリアの広いスピーカの導入)を実施し、難聴地域の解消を図る予定です(平成31年度事業完了予定)。</p>					
評価	自己評価		行政評価委員会評価			
	B やや成果があった		B やや成果があったと評価する			
具体的な評価理由	同報無線の統一については、平成24年度に整備を完了した。また、難聴地域の解消については、西尾市防災行政無線更新事業(H28～31)により、難聴地域の解消が期待できる。		平成24年度に同報無線の整備がなされたことを評価します。今後は難聴地域の解消のための方策が具体化することを期待します。災害時の気象条件などの考慮すると、情報が伝達されにくいことが予想されます。地域の防災訓練や日ごろの広報活動により、住民の情報収集に対する意識を高める活動を進められたい。			